

## I はじめに

### 1. 調査の目的

本調査は、結婚や子育てに関する県民の意見・ニーズを把握し、今後の子ども・子育て支援の各種施策の推進に活用するとともに、宮崎県が策定する「みやざき子ども・子育て応援プラン」策定の基礎資料として実施した。

### 2. 調査方法

住民基本台帳から無作為抽出した宮崎県内居住の20代～40代の男女3,000人(男性1,500人、女性1,500人)に対して郵送法で実施。

### 3. 調査時期

令和元年7月

### 4. 回収率

	配布数	回収数	回収率
男性	1,500票	292票	19.5%
女性	1,500票	593票	39.5%
性別無回答	-	9票	-
合計	3,000票	894票	29.8%

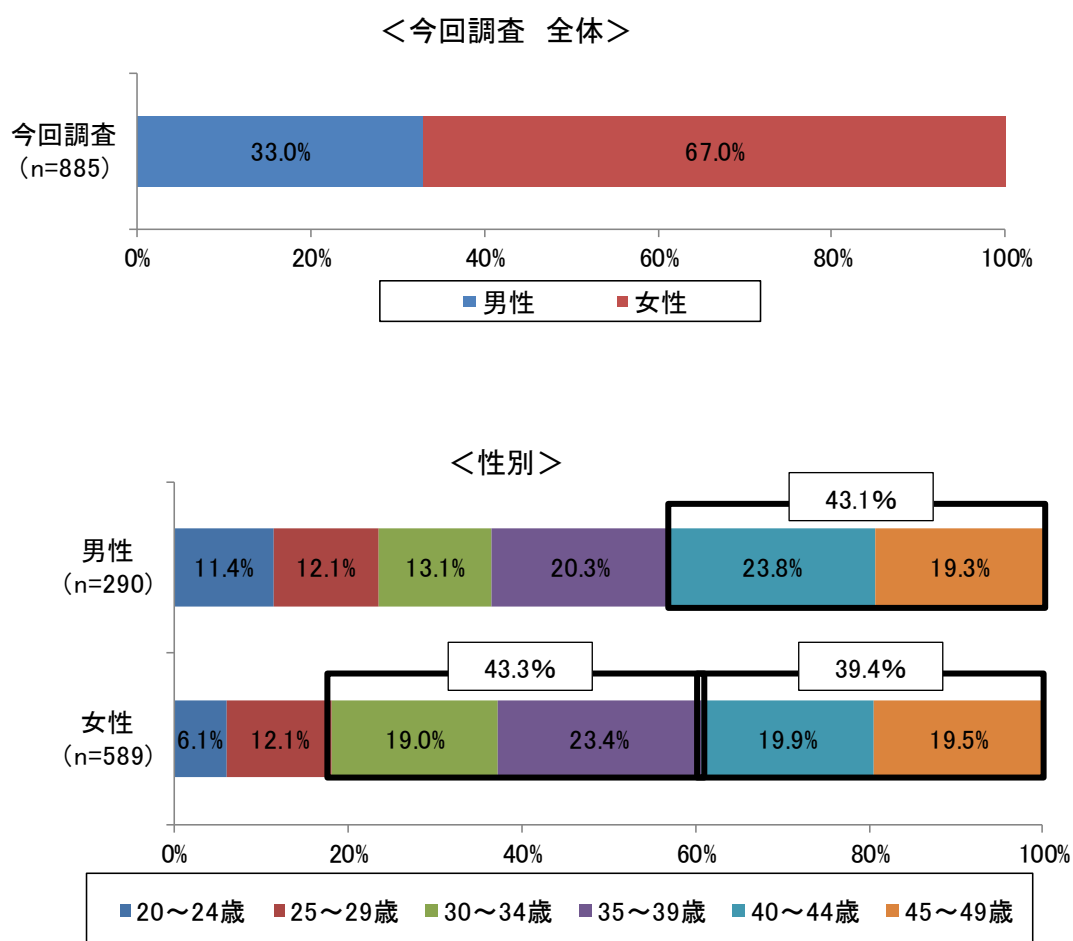
## II 調査結果

### 1. あなたご自身のことについて、一般的なことがらをおたずねします。

#### (1) 性別

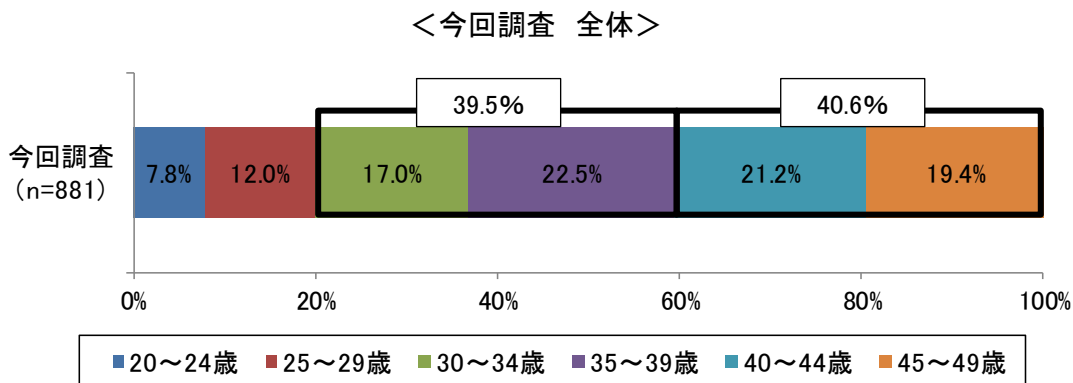
回答者は「女性」の割合(67.0%)が高く、「男性」は33.0%となっている。

また、「男性」は「40代」の割合(43.1%)が最も高く、「女性」は「30代」の割合(43.3%)が最も高くなっている。



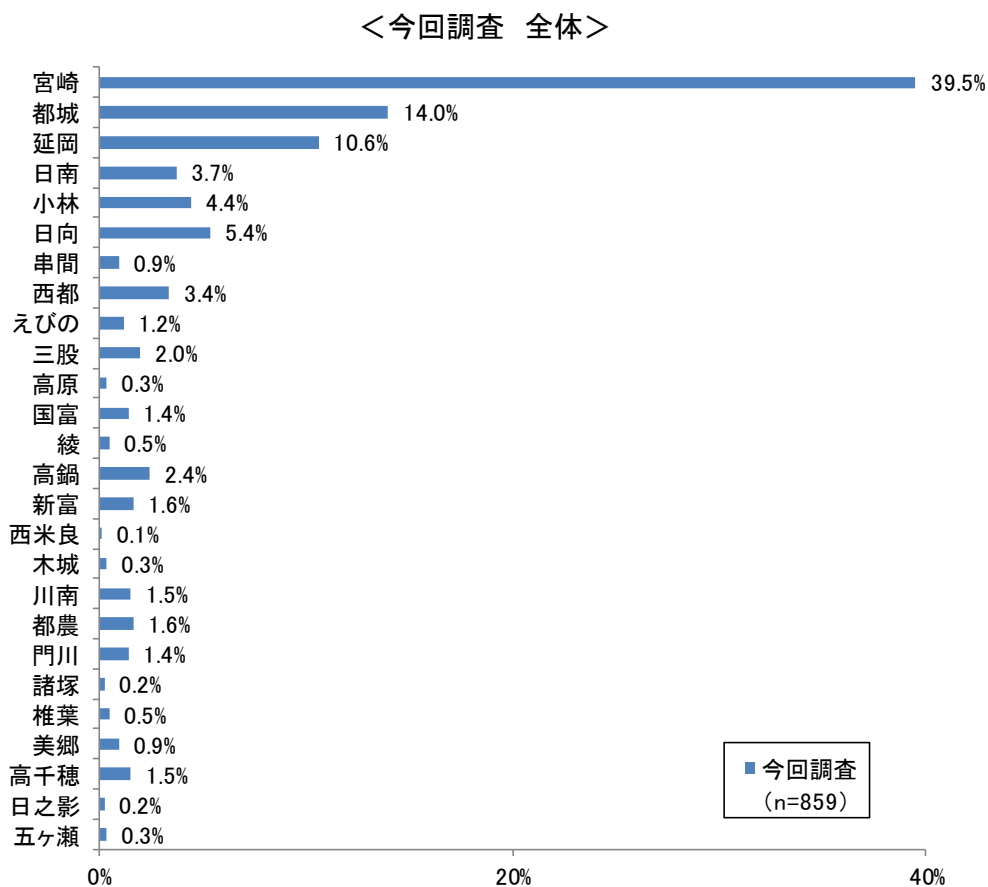
## (2) 年齢

「40代」の割合(40.6%)が高く、「20代」(19.8%)が最も低くなっている。



## (3) 居住地

「宮崎」の割合(39.5%)が高く、トップとなっている。これに「都城」(14.0%)・「延岡」(10.6%)を加えると3市が全体の約3分の2(64.1%)を占めている。

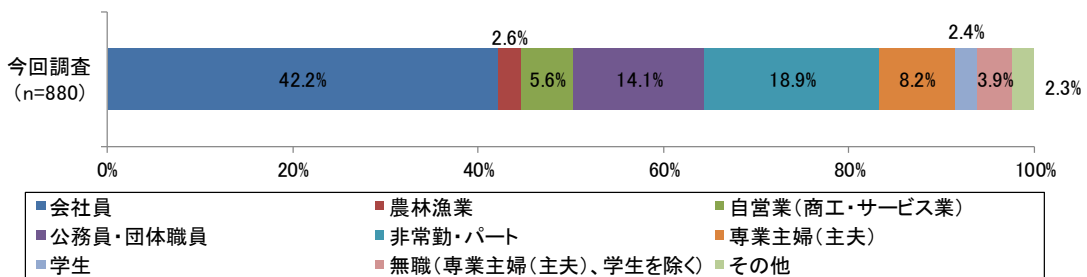


#### (4) 職業

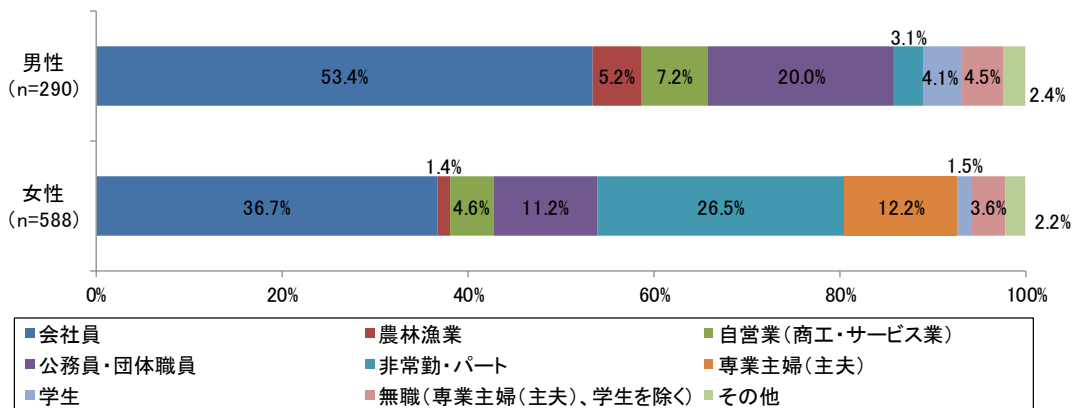
「会社員」の割合(42.2%)が最も高くなっている。「非常勤・パート」(18.9%)が次に高くなっている。

性別でみると、「男性」は「会社員」が半数以上(53.4%)を占めている。「女性」は「会社員」の割合(36.7%)が最も高く、「非常勤・パート」(26.5%)次に高くなっている。なお、女性の「専業主婦」は12.2%となっている。

<今回調査 全体>



<性別>



## (6)ご本人を含む世帯人員

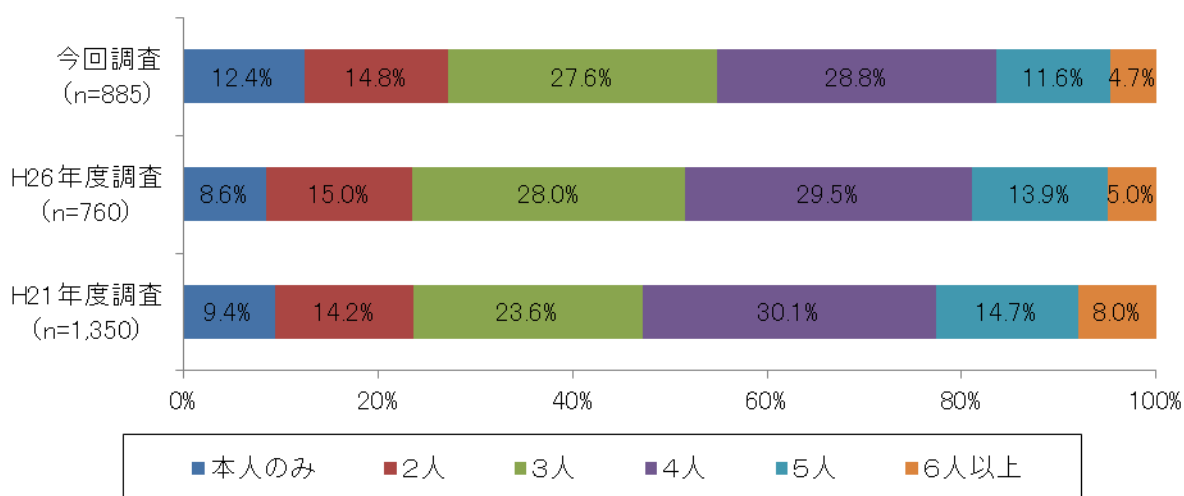
今回調査の全体(以下:全体)では、「4人」の割合(28.8%)が最も高く、次に「3人」の割合(27.6%)が高くなっている。

過去調査(H26・21年度:以下同じ)との比較では、「4人以上」の割合が減少傾向にある。

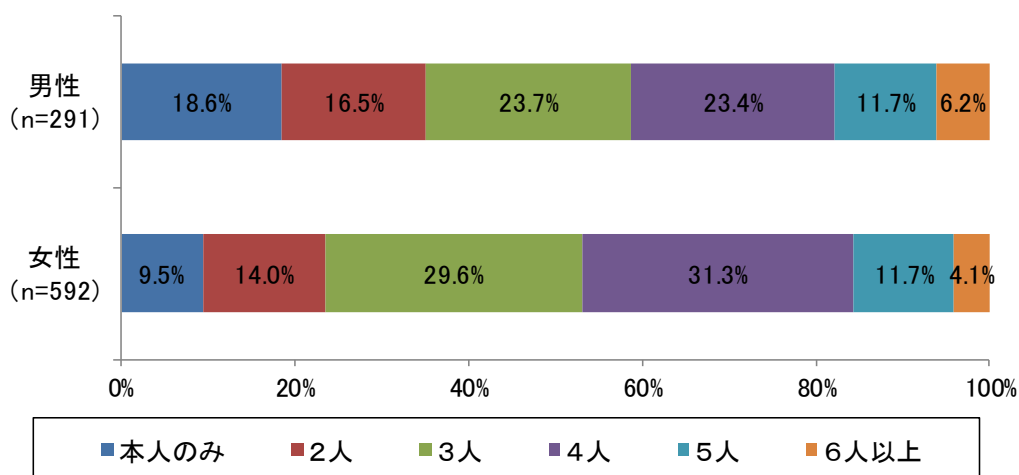
性別では、男女とも「3人」「4人」の割合が高い中で、「本人のみ」は「男性」(18.6%)が「女性」(9.5%)を9.1ポイント上回っている。

年代別では、「20歳代」の「本人のみ」は他の年代を10ポイント以上上回っている。

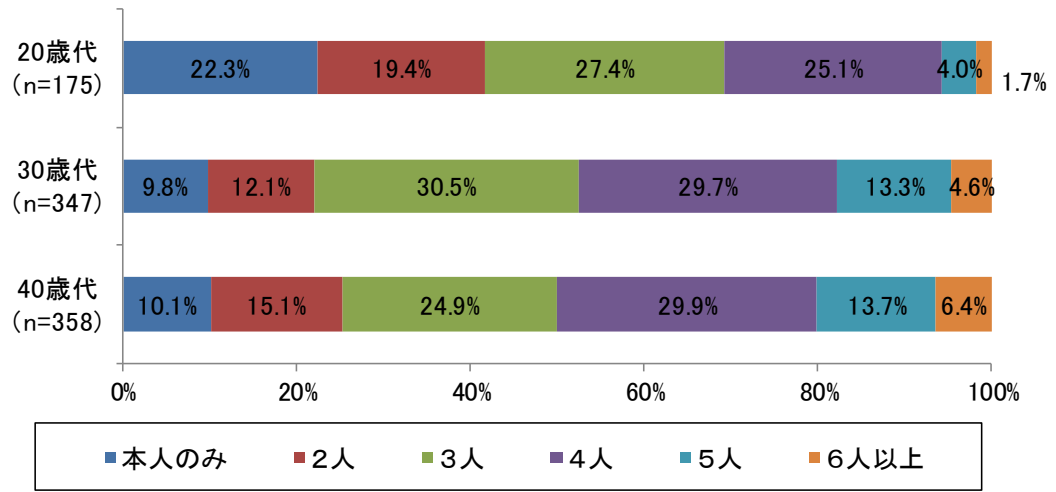
### <過去調査との比較>



### <性別>



<年代別>



### (7) 世帯構成

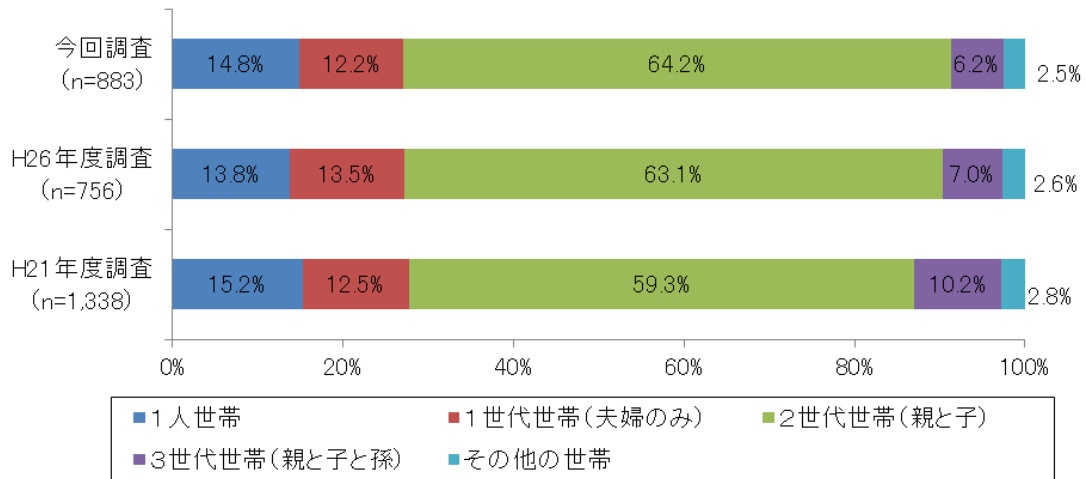
全体では、「2世代世帯(親と子)」の割合(64.2%)が最も高くなっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

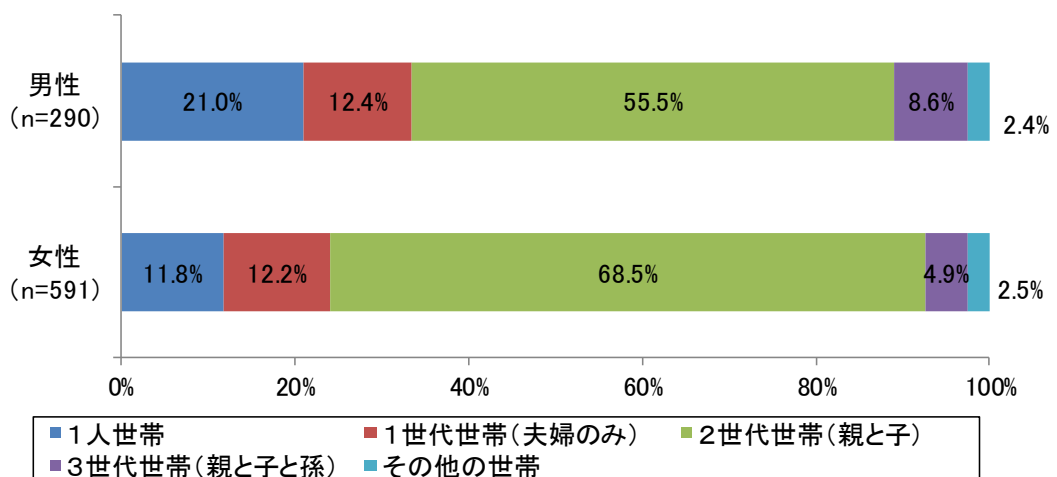
性別では、男性の「1人世帯」の割合(21.0%)は「女性」(11.8%)を9.2ポイント上回っている。

年代別では、「20歳代」で「1人世帯」の割合が25.3%であり、他の年代を10ポイント以上上回っている。

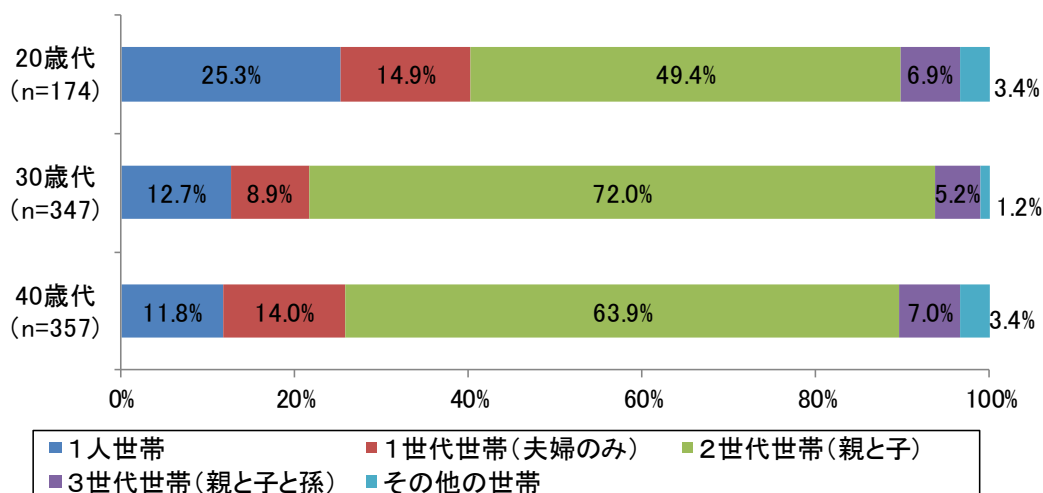
#### <過去調査との比較>



#### <性別>



<年代別>



(8) 婚姻の有無

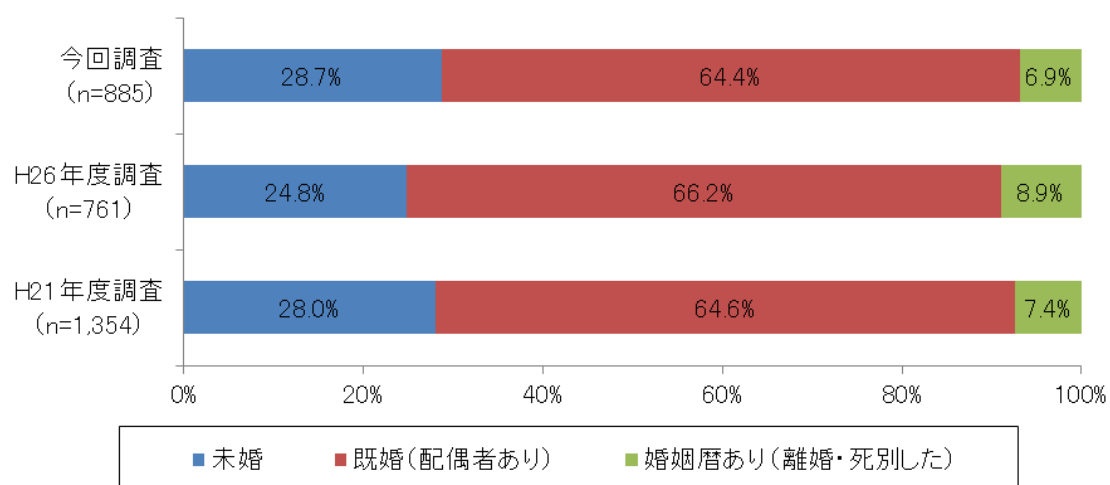
全体では、「未婚」の割合が28.7%、「既婚(配偶者あり)」は64.4%となっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

性別では、男性の「未婚」の割合(38.0%)は、「女性」(24.2%)を13.8ポイント上回っている。

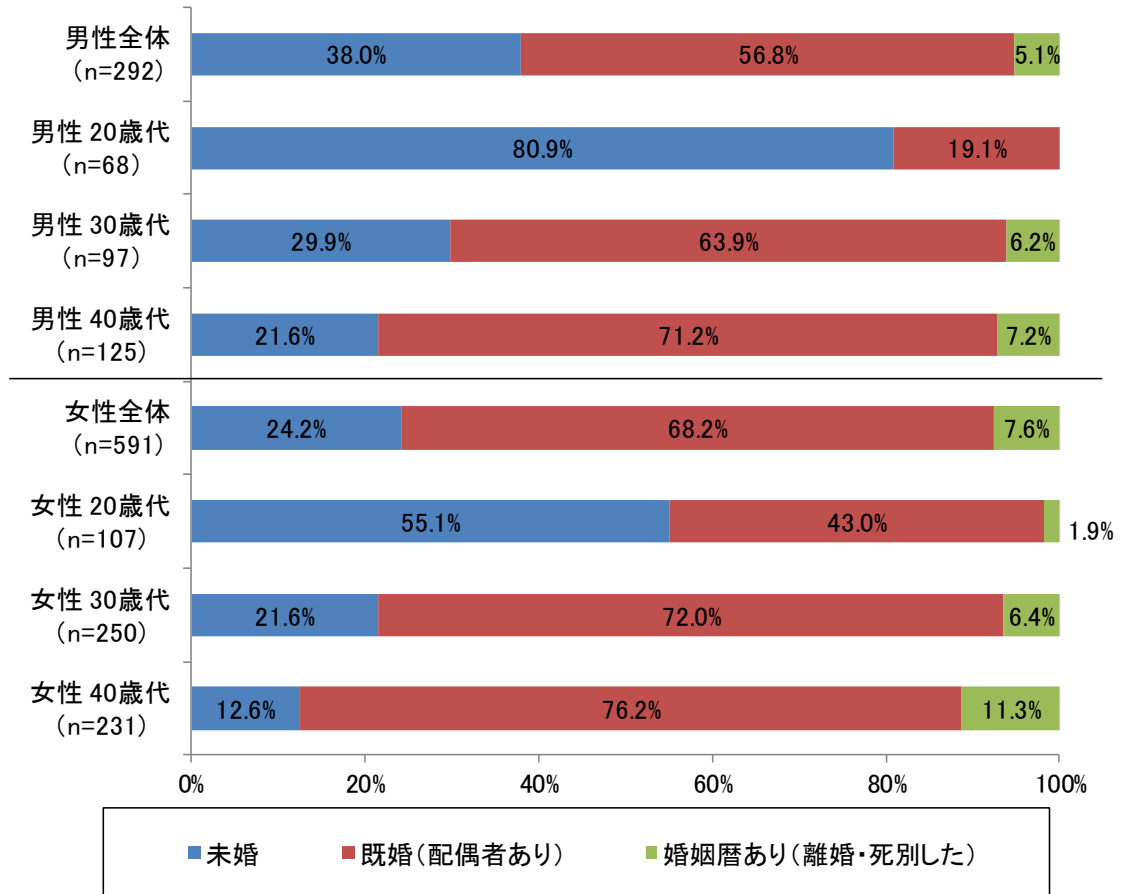
性別・年代別では、「男性20歳代」の「未婚」の割合は80.9%で他の年代を大きく上回っている。また、男性はいずれの年代でも「未婚」の割合は女性を上回っている。

<過去調査との比較>





<性別・年代別>



### (9)子どもの有無

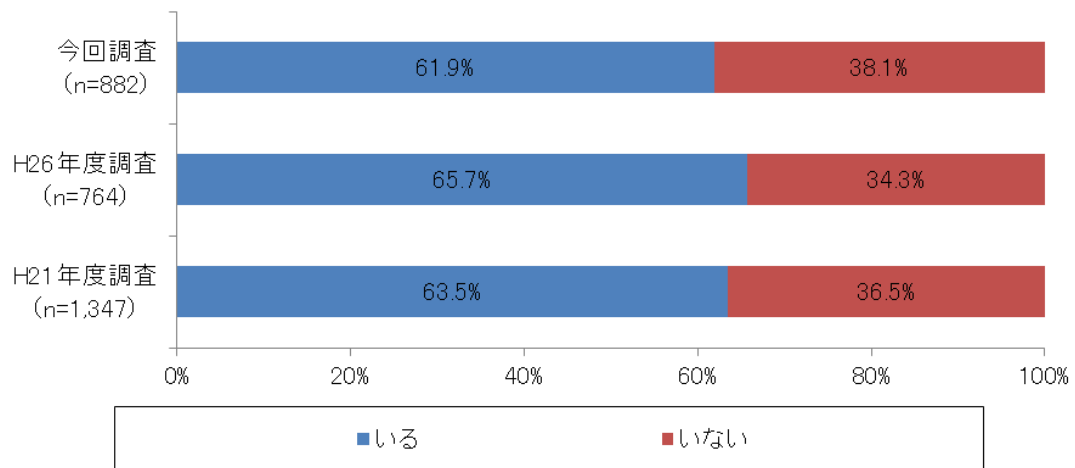
全体では、「いる」の割合が61.9%、「いない」は38.1%となっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

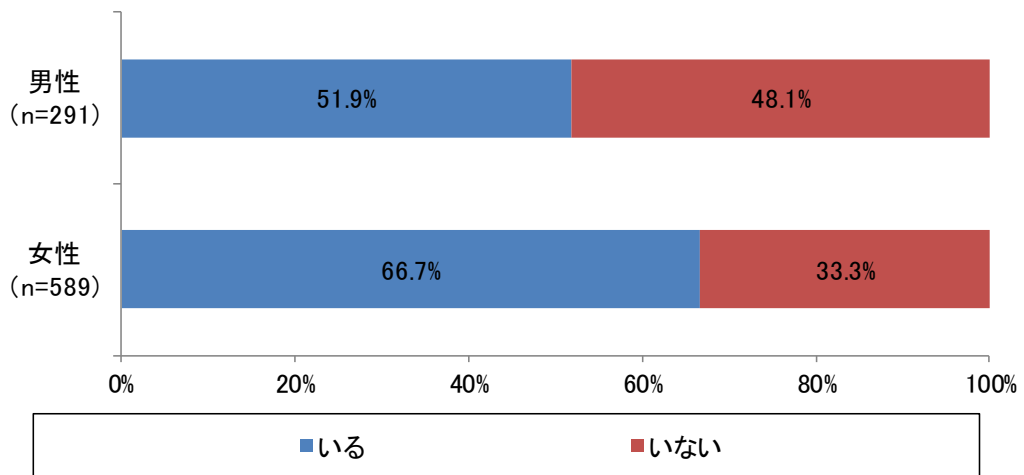
性別では、女性の「いる」の割合(66.7%)は、「男性」を14.8ポイント上回っている。

年代別では、「20歳代」の「いない」の割合(75.4%)は他の年代を大きく上回っている。

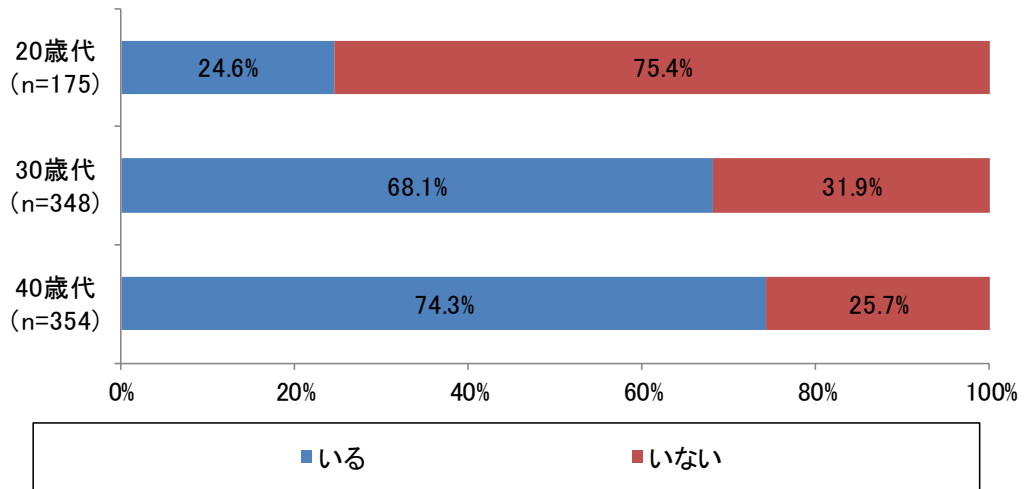
#### <過去調査との比較>



#### <性別>



<年代別>



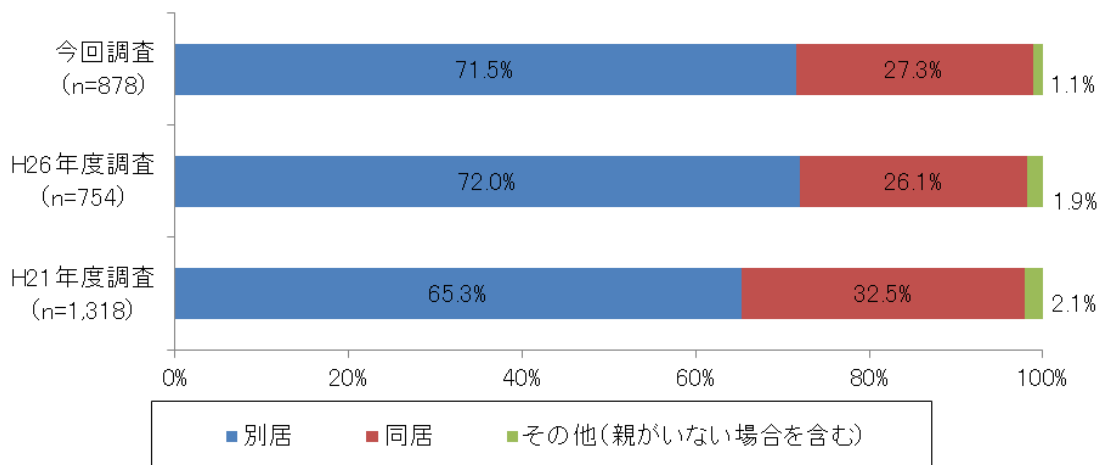
(10)①親との同居または別居の状況

全体では、「別居」の割合が71.5%、「同居」は27.3%となっている。

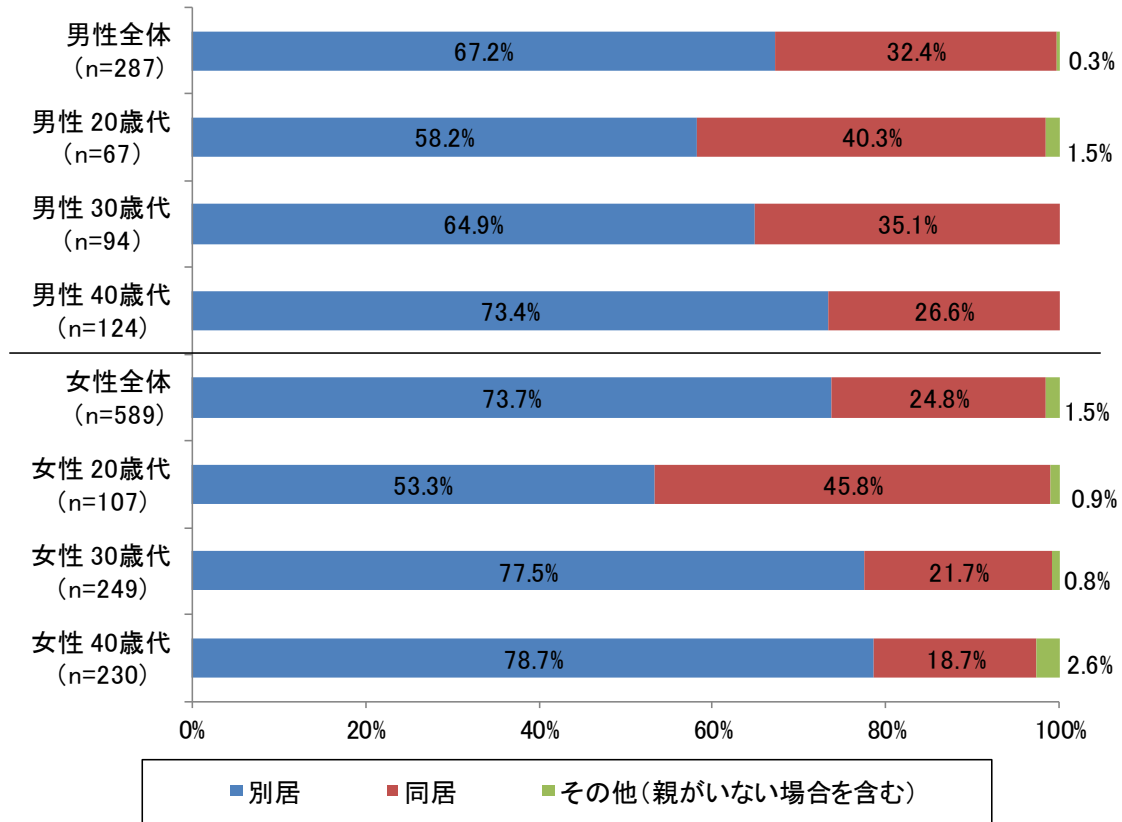
過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

性別では、男女とも「別居」の割合が約7割となっている。その中で、男女とも20歳代は「同居」の割合が4割を上回り、他の年代よりも高くなっている。

<過去調査との比較>



<性別・年代別>



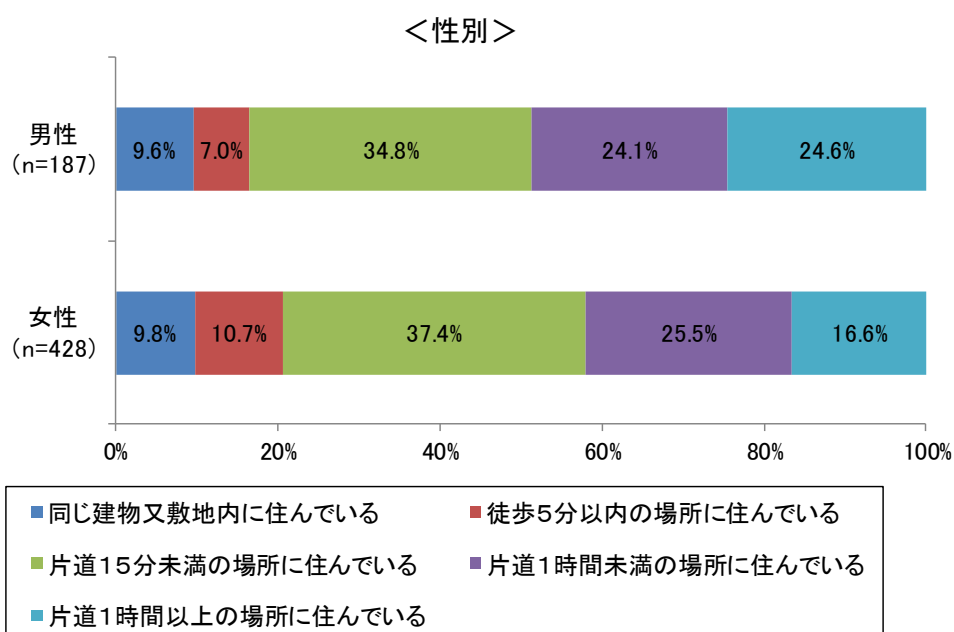
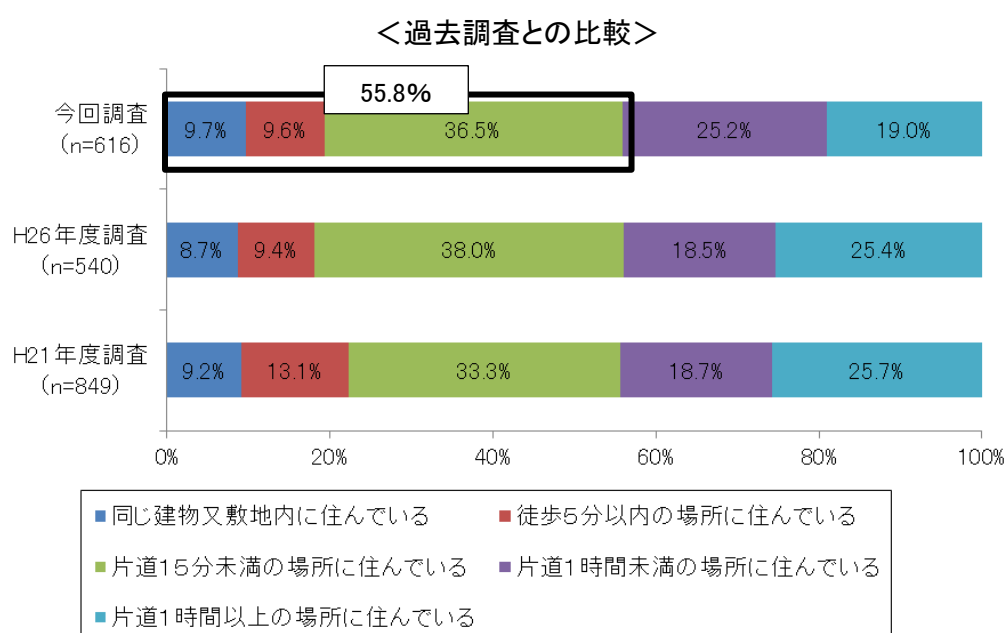
## ②別居の場合、ご本人又は配偶者の親の居住地(どちらか近い方)

全体では、「片道15分未満の場所に住んでいる」の割合(36.5%)が最も高く、「同じ建物又敷地内に住んでいる」(9.7%)と「徒歩5分以内の場所に住んでいる」(9.6%)を加えた”近居”は55.8%となっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

性別では、男女とも全体と同様の傾向となっている。

年代別では、「20歳代」は「片道1時間以上の場所に住んでいる」(32.6%)や「片道1時間未満の場所に住んでいる」(31.6%)の割合が高くなっており、他の年代と異なった傾向を示している。



<年代別>

